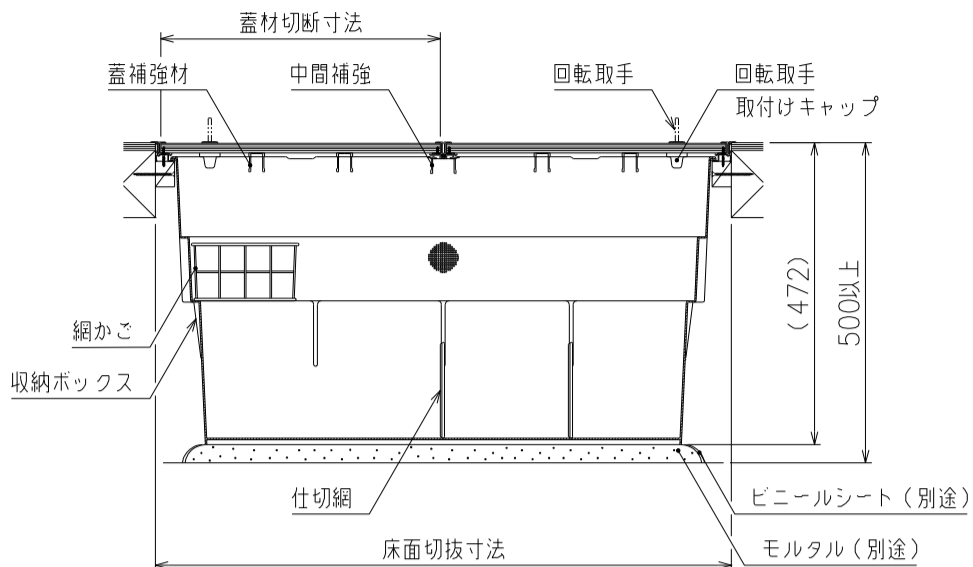


床下収納庫 PKE609型

納まり参考図



使用上の注意

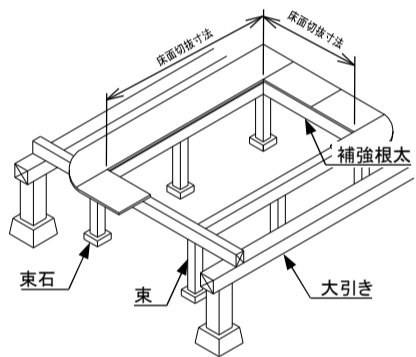
- 蓋の上には重いものを置かないでください。
- 蓋を片手で支えたままの出し入れをしたり、開けた蓋を壁等に立て掛けたりすると、蓋が倒れ指をはさむ恐れがありますので、開けた蓋は必ず床に置いてください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、床に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 収納ボックス本体の中には入らないでください。
- 床下収納庫の機能の破損・怪我の恐れがありますので、決められた使用法以外の事はしないでください。

1. 付属部品

付属部品名	入数	付属部品名	入数
取手	2	蓋補強材	4
回転取手取付けキャップ	2	なべタッピンねじ(4×12)	16
なべ小ねじ(M4×16)	4	通気口隠しシール(側面・底面用)	各1
平座金(呼び径4)	4	網かご	1
さらタッピンねじ(3×20)	12	仕切網	2
さらタッピンねじ(3×12)	24	中間補強材	1

2. 床組み I

① 床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、床面から地面まで500mm以上を確保し補強根太を全周にまわします。

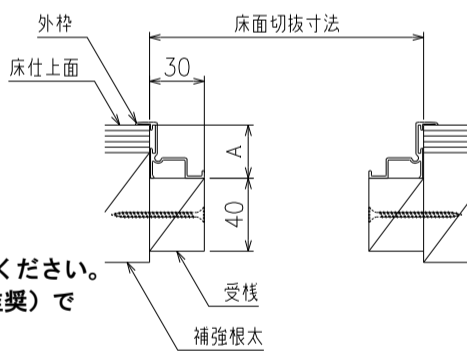


【床面切抜寸法】
901×620mm

- △ 床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- △ 切り抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- △ 改築の場合、下面の配管にご注意ください。

3. 床組み II

① 床面開口部に外枠をはめ込みます。(仮置き)
② 床仕上げ面からA寸法の段になるように、30×40mmの受棧をまわします。

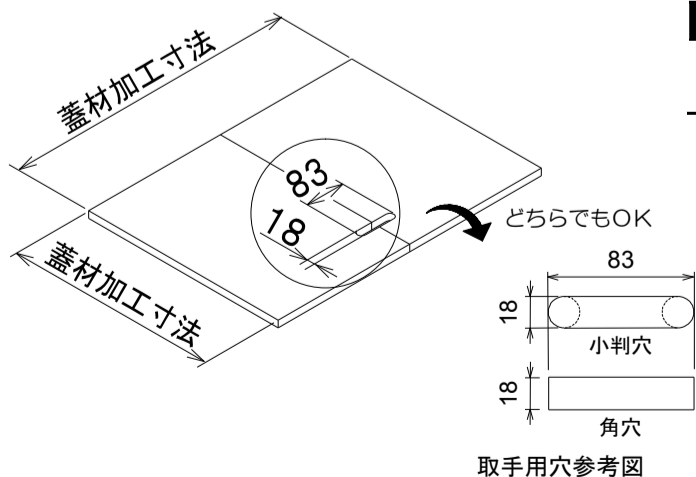


対応蓋材厚さ	A寸法(mm)
15mmタイプ	29

- △ 確実にA寸法がまもられている事を確認してください。
- △ 受棧等はコーススレッド(L=60mm以上を推奨)で取付けてください。
(短辺側は1辺5本以上、長辺側は1辺7本以上での取付けを推奨)

4. 蓋材の加工(2セット作成)

① 蓋材加工寸法に、蓋材(切り抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口、小判穴または角穴(18×83)を設けます。
② 加工した蓋材の裏全面に接着剤を塗布して、蓋下地材と接着してください。



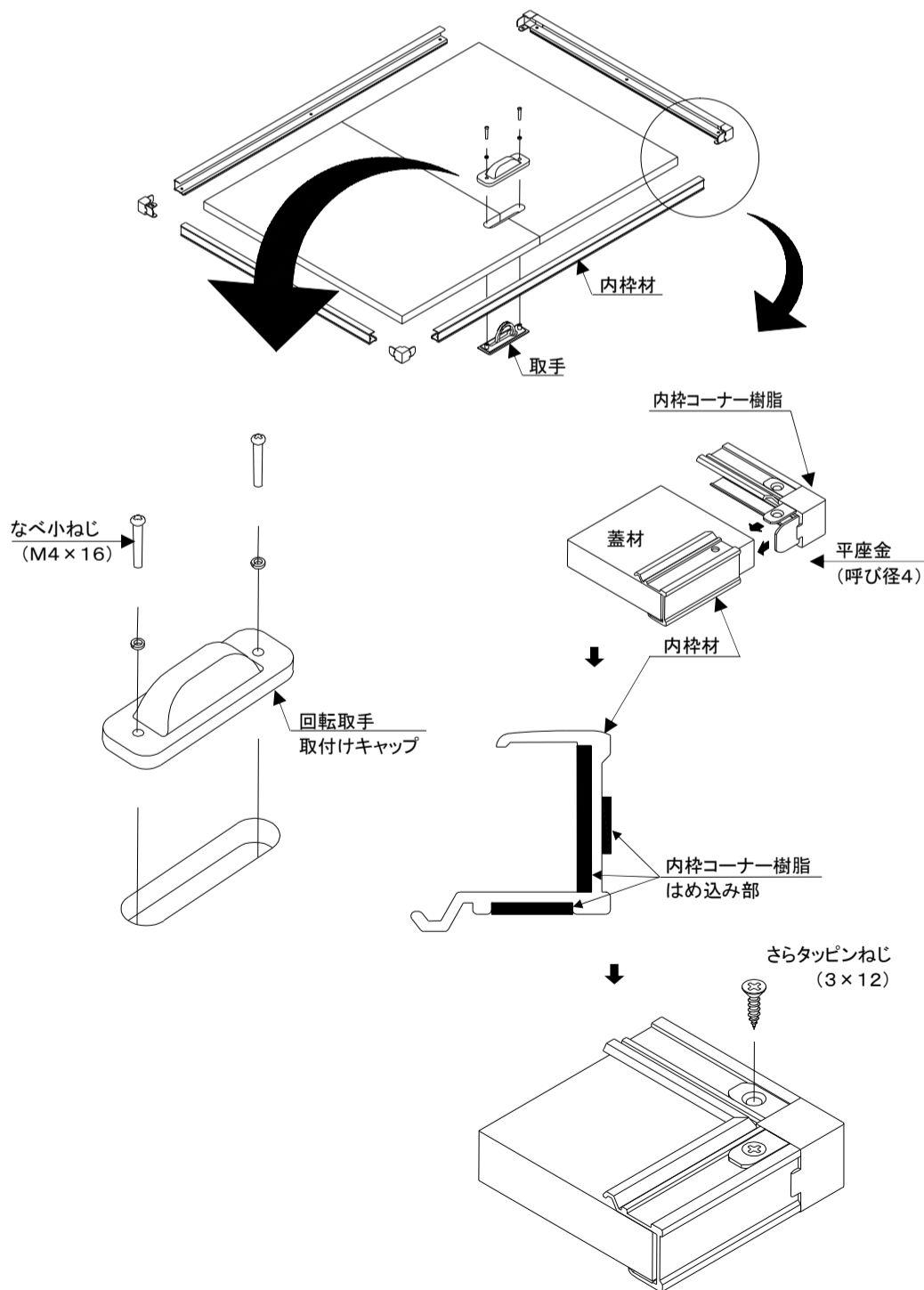
蓋材加工寸法(mm)
437.5×603
(許容公差±1mm)

※取手用の開口は
小判穴または角穴
(どちらでも可)

- △ 蓋材の厚みは、蓋下地材と接着して合計で15mmになるようにしてください。
- △ 板材で継ぎ目がある場合は、継目が中央にくるように切断してください。
- △ 蓋材の寸法が大きすぎると、内枠材と内枠コーナー樹脂の間に隙間が生じる恐れがありますので、必ず上記の加工寸法(許容公差内)で切断してください。

5. 蓋の組み立て(2セット作成)

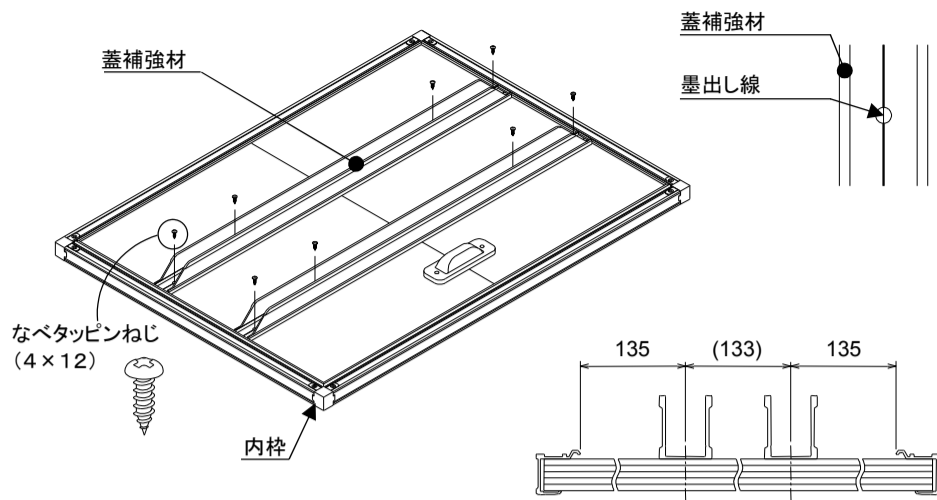
- ① 内枠コーナー樹脂を内枠材1本の両端部にはめ込みます。(1組作成)
※内枠コーナー樹脂の内枠材へのはめ込み箇所は、下図をご参照ください。
※内枠コーナー樹脂を内枠材にはめ込んだ際、内枠コーナー樹脂と内枠材の間に隙間が生じた場合、木槌等を用いて調整して下さい。
 - ② 加工した蓋材に、内枠材と内枠コーナー樹脂をはめ込みながら、コの字の内枠を組み立てます。(1組作成)
※内枠材が蓋材にはめ込みにくい場合は、蓋材を少し面取りしてください。
 - ③ コの字枠に、①で組み立てた内枠を組み付けます。
 - ④ 内枠裏側から、対角寸法が同一であることを確かめてからコーナー部とセンター部にさらタッピンねじ(3×12)で固定します。(計12本)
- △ コーナー部が直角であることを確かめて施工をしてください。
- ⑤ 蓋材になべ小ねじ(M4×16)で、取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



※対角寸法が同一かを必ず確認してください。

6. 蓋補強材の取り付け（2セット作成）

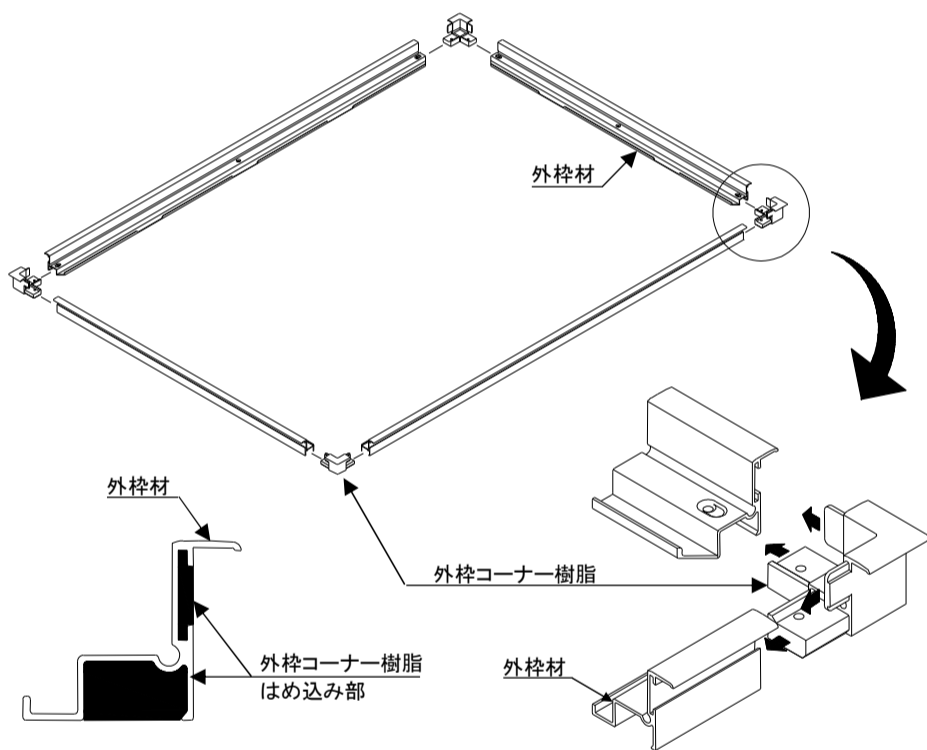
- ①蓋材（短辺側）の裏面に下記寸法になるように墨出しを行います。
※このとき、板の継ぎ目と直角になるようにしてください。
- ②蓋補強材を①の線上に置き、蓋補強材のねじ穴の中央を墨出し線が通っている事を確認しながら、なべタッピンねじ（4×12）にて固定してください。



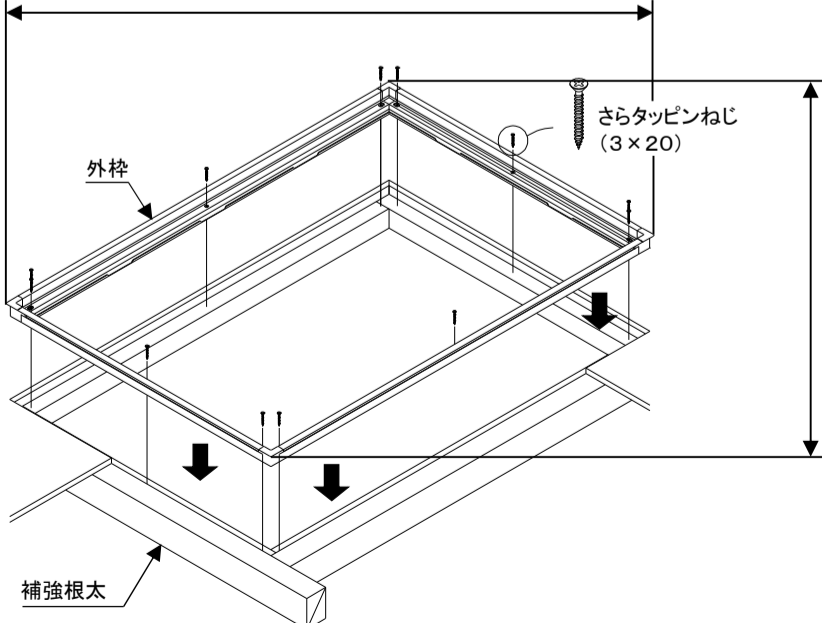
⚠ 蓋補強材は必ず上図の位置にくるように取付けてください。

7. 外枠の取り付け

- ①外枠コーナー樹脂を外枠材にはめ込み、外枠を組み立てます。
※外枠コーナー樹脂の外枠材へのはめ込み箇所は、下図をご参照ください。
 - ②組み立てた外枠を、開口した床面にはめ込みます。
 - ③外枠と床面、外枠と受桟の間に隙間が生じないように注意し、対角寸法が同一である事を確かめ、さらタッピンねじ（3×20）で受桟に外枠を固定します。（計12本）
- ⚠ コーナー部が直角である事を確かめて施工をしてください。
⚠ 外枠材と、外枠コーナー樹脂の間には隙間が生じないように施工してください。

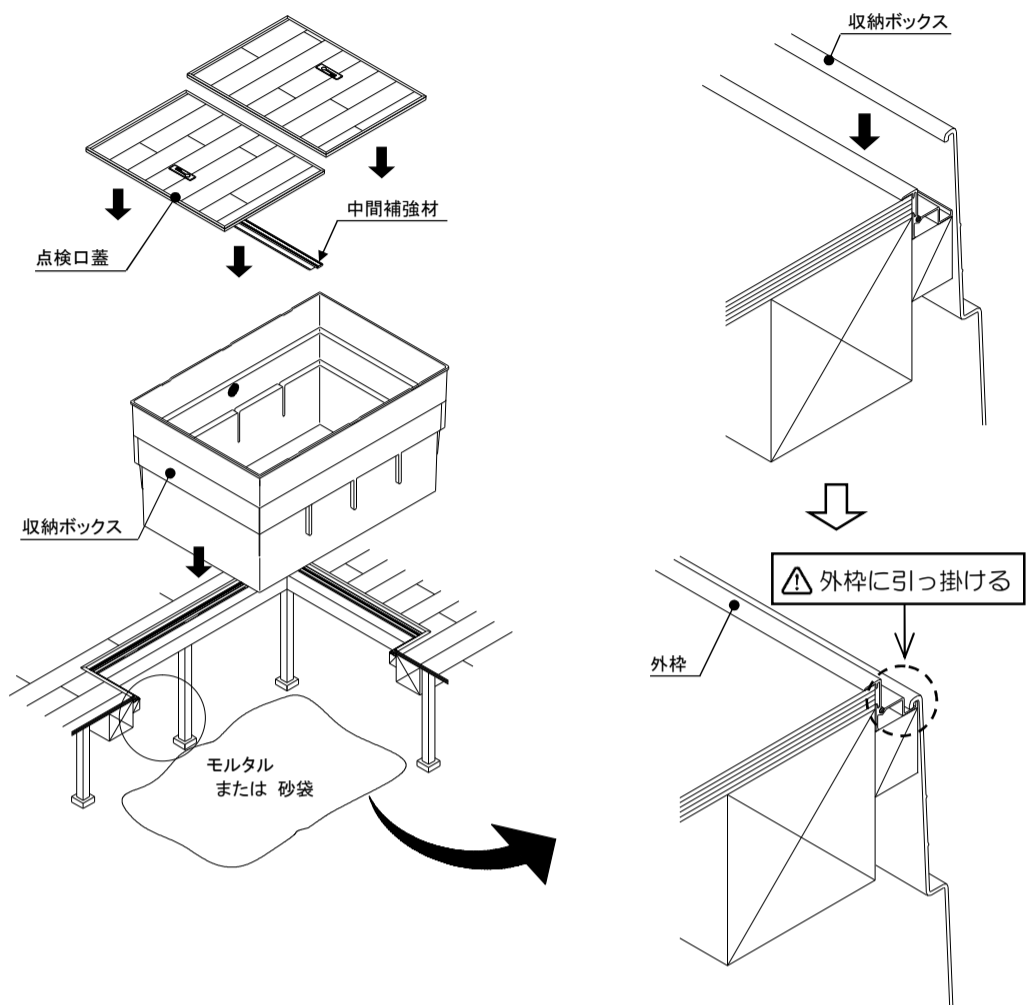


※対角寸法が同一かを必ず確認してください。



8. 収納ボックス本体・点検口蓋の取り付け

- ①収納ボックス本体の下部を受けるように、モルタルまたは砂袋を敷きます。
（モルタルにて施工の場合は、モルタルの上にビニールシート等を敷いてください。）
 - ②収納ボックス本体を外枠にしっかりと引っ掛かるまで押し下げます。
- ⚠ 収納ボックスは外枠に引っ掛る構造になっていますので、確実に引っ掛っている事を確認してください。
- ③収納ボックスの中央凹み部に中間補強材を置きます。
 - ④「4.～6.」で作成した点検口蓋をはめ込みます。



-POINT-

収納ボックス本体の下部を受けるように、モルタルまたは砂袋を敷くと強度が増します（モルタルにて施工する場合は、モルタルの上にビニールシート等を敷いてください。）。

- モルタルまたは砂袋を敷き、外枠に引っ掛かるまで押し下げ、収納ボックス本体の底部をしっかりと密着させてください。
- ※モルタルにて施工する場合は、モルタルが固まる前にビニールシート等をかぶせてください。